

南那須地区広域行政事務組合

「し尿処理施設整備基本計画」住民説明会に関するご意見・ご質問【回答】

令和7年2月公表

■「し尿処理施設整備基本計画」住民説明会 令和6年8月25日

■ご意見・ご質問の受付期間 令和6年9月13日～令和6年10月15日

※説明会后、受付期間以前に組合ホームページに送信された意見も受け付けました。

■ご意見・ご質問 3名の方から提出頂きました。

| | |
|---|-------------------------|
| 受付年月日 | 令和6年8月29日 |
| 件名・概要 | 新し尿処理の建設について（堆肥プラントに疑問） |
| <p>市議会議員から現在、し尿処理施設の建設をどうするか議論が進んでいると伺いました。助燃剤を使った処理か堆肥プラント化のどちらにするかというものです。</p> <p>一市民としましては、堆肥プラントには疑問がのこります。</p> <p>堆肥化プラントに限りませんが、処理施設の運営にはそもそもエネルギーが必要であり、結局はCO2排出につながります。議員さんの説明では、堆肥プラントの方が二酸化炭素排出量が少ないとのことでしたが…</p> <p>堆肥化プラントは、適切に管理されることでCO2削減に貢献する可能性があると思います。特にメタンの削減や炭素の土壌固定、化学肥料の削減など。しかし、プロセスの管理や運営コスト、エネルギー使用に注意しなければ、逆に環境負荷を増やすリスクも考えられます。</p> <p>建設において、市民への説明不足が感じ取れました。</p> <p>返信などは不要ですが、どうかこのまま建設を強行するのではなく、説明会などのさらなる周知をお願いしたいと思います。</p> | |

| | |
|---|------------------------------|
| 受付年月日 | 令和6年8月30日 |
| 件名・概要 | 新し尿処理の堆肥プラント建設見直しについて（堆肥化反対） |
| <p>令和6年8月25日説明会で明らかになった堆肥化プラント建設は、国の助成金があるとは故、概算見積もりで17.4億円（恐らく実質はそれ以上）も高額な建設費をかけ、そこで作成された堆肥を実質、農家、酪農家に配布するものであり、それにより堆肥を必要としない多くの住民が、その建設費とメンテナンス費用を半永久的に負担する構図となります。</p> <p>これは住民サービスの明らかな不公平です。</p> <p>よって、これを推し進めるのであれば以下の対応をお願いし、その結果を広報並びにホームページ等で全住民に公表し、住民の理解、半数以上の納得、賛同を得た上でやるべきと考えます。</p> <p>1. 那須烏山市と那珂川町の現在の農業、酪農の従業者を対象に調査を実施し、①堆肥を必要とするか、②後継者の有無、③後継者がいない場合の今後の事業の継続期間等と調べ、10年、20年、30年先にどれだけ当地区において堆肥の需要があるかを確認すべきです。当地区以外に配るのは住民の負担からしてありえません。</p> <p>2. 堆肥といえども肥料との兼ね合いも出てくるものと考え、地元の重要な雇用先であるJAに影響が出ないかどうかを確認し、了解を得ておく事。</p> <p>以上の結果を踏まえ、我々住民を納得させた上で判断される事を真剣に要望いたします。</p> | |

| | |
|---|-----------------------|
| 受付年月日 | 令和6年9月3日 |
| 件名・概要 | し尿処理施設整備計画について（堆肥化反対） |
| <p>堆肥化プラント建設計画を助燃剤プラントに変更するよう希望します。</p> <p>助燃剤 27 億 3 千万 堆肥化 44 億 7 千万 差は 17 億 4 千万</p> <p>お金かけて堆肥化する必要はないと思います。</p> <p>仮に堆肥化して、捌けないと保管が大変だと思います。捌ける保証はあるのでしょうか。</p> <p>捌けなかった場合、処分するにも費用が必要だと思います。</p> <p>匂い問題も出ないのでしょうか？</p> <p>また、那珂川町と那須烏山市へ 2 施設の建設案もムダだと思います。</p> <p>建設する場合、補助金対象かどうかも不明です。</p> <p>補助金が出たとしても、その後のメンテナンスが倍かかると思います。</p> <p>税金や補助金をムダにする事がないよう、よろしくお願いいたします。</p> | |

■回答 3名の方の意見に対し、1本の回答とさせて頂きました。

| |
|---|
| <p>令和6年8月25日説明会で説明したとおり、南那須地区広域行政事務組合では、現在の一般廃棄物処理施設（ごみ処理施設、し尿処理施設）の老朽化に対応するため、新施設の整備を目指し、平成27年度から本格的な検討を開始いたしました。</p> <p>平成27～29年度の施設整備基本構想策定では、新し尿処理施設の整備方針を「水処理方式：河川放流・浄化槽汚泥混入比率の高い脱窒素処理方式」、「資源化方式：助燃剤化」としましたが、その後の社会情勢の変動等を踏まえ、令和4年11月住民説明会において「施設整備方針の見直し・再検討」を表明し、住民等の意見聴取に努めて参りました。</p> <p>そうした中、令和4・5年度のし尿処理施設基本計画策定においては、「環境重視の理念、地域の農業における需要」を背景に、「助燃剤化ではなく堆肥化を」という強い意見があり、新たな施設整備方針を「水処理方式：下水道放流・生物学的脱窒素処理方式」、「資源化方式：堆肥化方式」とした次第です。</p> <p>令和6年8月25日住民説明会及び今回のご意見・ご質問受付においては、「堆肥化が環境負荷を増やすリスク」、「堆肥化が住民サービスの不公平を招く懸念」、「堆肥化の投資効果に対する懸念」、「堆肥の需要を懸念」といった指摘がなされたものと受け止めております。</p> <p>この指摘は、南那須地区広域行政事務組合執行部で共有するとともに、南那須地区広域行政事務組合議会に報告させて頂きます。</p> <p>今後も、折々で住民説明会を開催する等、住民への説明・意見聴取に努める所存ですので、よろしくお願いいたします。</p> |
|---|